

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で (ヨシエル)」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇 119 : 7、エペソ人 6 : 5 「真心から」、マタイ 13 : 44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

→ ⑤ 神の預言の確かさ

イスラエル その2

出陣される神

【1】古代イスラエル史からの例証

☆「ハヌカ (奉献の意) の祭り」

二世紀 BCE に起こったユダヤ人の奇蹟的大勝利の出来事に因み、守られるようになった
聖書外典マカバイ記第一、第二、ヨハネ 10 : 22 「宮きよめの祭り」

歴史的背景

アンティオカス四世・エピファネス、ユダヤ人の宗教を根絶、ギリシャの多神教樹立を企てた
ユダヤ人のすべての慣習は排除され、ユダの町々の至るところ、異端の神々へのいけにえが
持ち込まれた

荒らす憎むべきもの

キリスト、アンティオカス四世の神冒瀆行為を「ひな型」とする反キリストの出現を警告
168BCE、十二月、キスレウの月の十五日、アンティオカス四世、エルサレム神殿に異端の祭壇を
築き、誕生日のキスレウの月の二十五日、豚のいけにえをささげた

マタイ 24 : 15、ダニエル書 11 : 31-32

マカバイ家の謀反

勇気あるユダヤ人一家に始まった謀反、セレウコス王朝相手の本格的規模の戦争へと発展
マッテヤスと五人の息子たち、アンティオカス四世のヤーウェに対する冒瀆行為に抵抗
劣等なユダヤ人勢力、強力なシリヤ (ギリシャ) 勢力に対して奇蹟的勝利

⇒ 神のご介入の奇蹟がもたらした

エルサレム奪還と、165BCE、キスレウの月の二十五日の **神殿の再奉献**

燃え続けた七枝の燭台「メノラー」

☆ 神殿を修復、聖めた後、メノラー点火に要求された純粋なオリーブ油

☆ 神殿中を捜し、大祭司の封印がされた小さな油びん一個 (点火、一日分) を発見

信仰深い者たち、メノラー点火を決行

☆ その結果は、一びんの油で八日間燃え続けた奇蹟

☆ ユダヤ人、毎年「ハヌカの祭り」を八日間、祝う

【2】近代史からの例証

☆イスラエル国家の復興

一日にして生まれた国

☆ イザヤ書 66 : 8 の預言「国は一瞬にして生まれようか。ところがシオンは、陣痛を起こすと同時に子らを産んだのだ」(下線付加) の成就

イスラエル、一日にして、国連の承認で国家として誕生

☆ 独立が宣言された翌日、近隣のアラブ諸国五箇国、イスラエルに宣戦布告

☆ イスラエル国家、外交と戦争の両方を経て樹立

⇒ これ以降今日に至るまで、両舞台での生存競争展開

聖書

国家誕生前

- ★1880年から1940年代にかけて、住むべき地がないユダヤ人の苦境、ユダヤ人国家樹立の必要性を生み出していた
- ★1947年に国連、パレスチナを二国家に分割する案を提唱
- ★国連総会の評決の結果、二国家分割案が有利になった直後から地方のアラブ人暴徒、イスラエル全土のユダヤ人共同体を襲撃
- ⇒イスラエル国家宣言の翌日、1948年5月15日、エジプト、シリア、ヨルダン、レバノン、イラクの五箇国同盟軍、イスラエル侵略

好戦的な近隣諸国のかも、イスラエル

- ★復興したイスラエル国家の構成員のほとんどは、ヨーロッパの強制収容所からかろうじて死を免れて祖国に帰還した難民
- ★イスラエルには、軍隊も武器もなく、伝承によると、およそ五丁の機関銃と弾薬十五発、空軍はなく、戦車が六台、戦闘態勢に入れる状態ではなかった
- ★敵勢はエジプト軍だけでも四万人の兵士と戦車百三十五台に、重砲を有し、戦闘機や爆撃機を含めて六十機以上を所有

戦場で働かれる神

- ★エジプト軍、1948年5月19日、地中海沿岸のキブツ、ヤド・モルデカイを攻撃
- ★ユダヤ人防衛隊、手製の武器、一すさまじい騒音を出す以外、何の役も果たさなかった—を用いて、全エジプト軍を長期戦に持ち込んだ
- ★兵士の形に切り抜いた木片を用い、塹壕から塹壕へと移動させ、多軍勢に見せかけた
- ★北方では、アラブ軍、サファドを見おろすハル・カナンの頂上に陣を敷き、ユダヤ人は塹壕を掘った
- ★ユダヤ人、ダヴィドゥカ、一自家製モルタルの軽砲、極めて不正確、戦術的にほとんど無価値しかし、非常な騒音だけは生み出した—を使用、数回発砲させた
- ★そのとき、奇蹟が… 季節外れの雨が降り始めた！
- ★アラブ軍、ユダヤ人の原子爆弾使用を疑い、おびえ、ハル・カナンの頂上から^{しっそう}疾走
- ★イスラエル、サファドの町を征服、ガリラヤ北部の全域からアラブ軍を追放

発想の奇蹟

- ★近隣のアラブ諸国、宣戦布告後、速攻をかけず、八日間イスラエルへの大作戦を計画
- ★イスラエル国民、少なくとも戦争に備えるための時間かせぎができればと、苦肉の思案の末、ある作戦を考えついた
- ★5月23日の真夜中、イスラエル国民、エンジンのあるものは何でも、テル・アビブからハイファに至る海岸線に沿って並べたすべての車から、排気管をはずした
- ★次に、大きな石油のドラム缶に岩を詰め、隣接した丘の頂上に運んだ
- ★早朝、合図が送られ、一斉に車のエンジンが始動させられ、同時に、石油のドラム缶が次々と丘から転がされた
- ★辺り一帯を激しく振動させる突然の爆発音、騒音で目覚めたアラブ軍、米軍が、イスラエル救出にチャーマン戦車を出動させたと信じ込み、大砲を置き去りに全員逃走

☆エルサレムと神殿の山の復興

1967年の六日戦争の奇蹟

- ★詩篇 83：1-5、イスラエルの近隣諸国によるイスラエル撲滅の陰謀を預言
- ★当時のアラブ連合共和国のナセル大統領、1967年5月28日、イスラエルに対する総攻撃を布告、目的はイスラエルの破壊であると宣言
- ★6月5日、ヨルダン、シリア、イラク、アルジェリア、スーダン、クウェート、サウジアラビア、モロッコが加わって、戦争勃発

聖書

戦争勃発前

- ★エジプトのナセル大統領、スエズ運河を閉鎖
- ★アカバ湾も閉鎖、イスラエルの石油供給の主要路を切断
国連の平和維持軍にシナイ半島からの退去を命令
- ★イスラエルに、もはや戦い以外の道は残されなかった
- ★三週間の論争の後、イスラエルの指導者、攻撃を決断

奇蹟づくめの戦争

- ★アラブ連合の全軍総数は、四十六万五千人の軍隊、二千八百八十台の戦車、九百機の戦闘機
イスラエル側は、二十六万四千人の兵士（二十万人は予備兵）、戦車八百台、戦闘機二百機
 - ★6月5日、イスラエル空軍、エジプトに先制攻撃、百九十六機を送った
イスラエル国内に残された航空機は、たった十二機
 - ★イスラエルの航空隊、作戦上、四編隊で送られた
 - ★戦争の最初の数時間は、イチカバチかのかげ
最初の航空隊の一斉射撃、午前7:45に始められ、ほとんど三時間のうちに、
エジプトの航空基地を爆撃
 - ★実際、最初の数分間に、基地に待機していたエジプトの航空機百九十七機を破壊
十八箇所のエジプト軍の航空基地が使用不能になった
- ⇒イスラエルの作戦がすべて功を奏したのは、ひとえに神のご介入によるもの

エジプト側に起こった一連の不慮の事故

1. イスラエルの先制攻撃の三時間余前、エジプトの諜報機関、イスラエル空爆切迫の警告を発信
このメッセージ、カイロの中央指令室に届き、下級将校が受けた
しかし、なぜか、エジプト空軍の長官に届かなかった
2. 他の「偶然」
北ヨルダンの、エジプトのレーダー操作員ら、イスラエル空軍の大編隊が地中海を低空飛行していることを示すレーダー指示を捕らえ、カイロの本部に特別緊急メッセージを送った
折しも、その部隊のための暗号コードは、前日変更されたばかりで、
にもかかわらず、指令室暗号復号化部のコード表をだれも更新していなかった
3. 6月1日に、シナイのエジプト軍のアメル戦場司令官、彼の軍団のほとんどで、司令官の
配置換えを命じられた
新しく配属された軍隊にも戦場の地勢にも通じていない新任の将校たちは、イスラエル攻撃には
全く備えなしの状態であった
4. 戦場司令官アメルと部下は、その翌日、イラクの高官との会合のため、シナイに飛行した
そのとき、エジプトの反防空システムが一時休止にされた
しかし、その後、作動への切り替えがされていなかった

さまざまな要因の結果、導かれた奇蹟

- ★イスラエル、百九十六機の戦闘機で、六百機以上で武装していたアラブの連合軍に勝利
戦争の終わりには、エジプト、ヨルダン、シリア軍は、四百五十二機の航空機を破壊され、
イスラエル国防軍側は、四十六機の航空機を失った
- ★戦争は六日で終結
- ★しかし、最大の奇蹟は、エルサレムと神殿の山がユダヤ人の手に戻されたこと

-
- **4** 神の約束の確かさ、成就の確かさ
 - **5** 預言の信憑性

神の大いなる祝福

エゼキエル書 38-39 章で預言された攻撃が可能になる時代は、1948年にイスラエル国家が誕生した今日をにおいてほかにない

聖書

イスラエルは略奪目的の攻撃の格好な標的

☆「略奪品」に対するさまざまな見解

エゼキエル書 38 : 10-13

1. イスラエル国家樹立前の見解

☆鍵は死海

＊砂岩と塩

2. 1967年の六日戦争の後の見解

☆シナイ半島探索の結果、

砂漠の移動砂の下に、銅、タングステン、長石の鉱床存在が判明

＊タングステン、高価で希少な金属

3. 2009年1月の出来事の後の見解

☆タマル天然ガス田の発見

＊イスラエルの排他的経済水域に位置

☆翌2010年12月、レビヤタン天然ガス田の発見

☆2014年10月、ゴラン高原に油田の発見

⇒タマル、レビヤタン、両ガス田、イスラエルに今後五十年間のエネルギーを十分に補給
ゴラン高原の油田層の深度、世界の油田層の平均深度の十倍の規模

イザヤ書 45 : 3-7

これらの発見はイザヤ書 45 : 3 の見事な成就！

「わたしは秘められている財宝と、ひそかな所の隠された宝をあなたに与える…」

☆言及されている地はカナンの地

☆イザヤ、後世、預言の成就を目撃することにより、人々が、聖書に証しされている創造者なる神
ヤーウェ以外に真の神がないことを知る時代が訪れることを預言、まさに今日がその時代！

☆イスラエル、神の祝福の奇蹟を目の当たりにすることによって、現在は不信仰でも、
イエス・キリストの再臨時には全員、神の真の「証人」に変えられる

石油生産国イスラエルの未来

☆イスラエルにとって考えられる海外市場は、エジプト、ヨルダン、トルコ、ヨーロッパ

☆EUは原子力に代わるエネルギー源を求めているが、難航

☆天然ガスに関しては、ヨーロッパは、ロシアに依存

☆2014年3月、ロシア、クリミア自治共和国を違法に併合し、「ウクライナ危機」が勃発
このとき、EU、ロシア連邦に制裁措置を課した

その応報としてロシア、ヨーロッパ諸国の主都への天然ガス供給を停止

⇒その結果、ヨーロッパは熱源、光源なしの苦境に陥った

ロシアのシリア支援の内情

☆ヨーロッパにはロシアから以外に他にも二つの天然ガス輸送管路があった

1. イラン、イラクを通しての補給線

2. サウジアラビアとヨルダンを通しての補給線

いずれも、シリアを通してヨーロッパに供給

→シリア内線でロシアの支援を受けているアサド政権、これらの補給線を閉鎖、
ロシアのヨーロッパ市場独占を支持

石油、天然ガス生産国イスラエルの台頭

☆ヨーロッパに、ロシア以外からの石油、天然ガス輸入ルートが開かれるか…！